

諏訪の景気動向

平成30年2月

(平成30年1月末 D・I調査)

平成30年2月28日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

諏訪地方の景気動向（平成 30 年 1 月末調査）

「平成 30 年 1 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 184 社のご協力を得て行った平成 30 年 1 月末の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは $\Delta 9.2$ となった。前回調査時(平成 29 年 10 月末、以下同)の 10.6 より 19.8 ポイント悪化した。製造業の業況判断DIは $\Delta 8.7$ で、前回の 15.2 から悪化し、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIも $\Delta 10.5$ で、前回の 0.0 から悪化した。例年この時期は、年末年始休業による稼働日数の減少、観光業の季節要因、製造業の取引先の在庫調整の影響などで、3ヶ月前と比較して業況が悪化する傾向となっている。今年は、これに加えて原材料や仕入れ価格の高騰、エネルギー価格の値上がり、人手不足による人件費の上昇などが業況に影響している。総体的に、大幅に好転した平成 29 年 7 月以降、徐々に悪化傾向となっている。一方、「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が 17.3(前回 2.4)、非製造業は 12.3(前回 $\Delta 11.4$)で、回答全社では 15.8(前回 $\Delta 1.7$)と好転見込みが多いことから、悪化は一時的と見られる。

諏訪地方では、生産能力向上に向けて大規模工場を建設したり、高水準の生産が続く企業がある一方で、経営上の課題には全業種で「労働力確保」がトップとなる状況が続いている。従業員数評価は引き続き、回答全社の約 4 割が不足としている。また、1 月は一部で北陸の大雪の影響も見られた。

製造業の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、前回の 17.6 から $\Delta 2.4$ へ悪化した。前回の 3ヶ月後の予想は 4.0 だったが、予想を上回る数の企業が悪化した。外注発注量DIも前回の 5.6 から $\Delta 4.7$ へ悪化した。高水準で横這いの企業はあるものの、総体的にやや減少傾向となっている。ただ、「前年同期」との比較では、業況判断、売上、受注とも約 45%の企業が好転し、各DIは 25.0 以上のプラス水準が続いている。また、「3ヶ月後」の予想DIは、業況判断が前回の 2.4 から 17.3、受注状況は 4.0 から 14.2、収益性は $\Delta 2.4$ から 2.3 と、好転予想が多い。原材料等のコストは、「3ヶ月前」に比べて 42.5%の企業が上昇とし、同DIは前回の 24.0 から 40.1 に上がり、資材の高騰や入手に悩む企業が増えている。従業員数の評価は「3ヶ月前」に比べて 40.9%が「不足」とし、「3ヶ月後」もほぼ同様な数値で推移している。

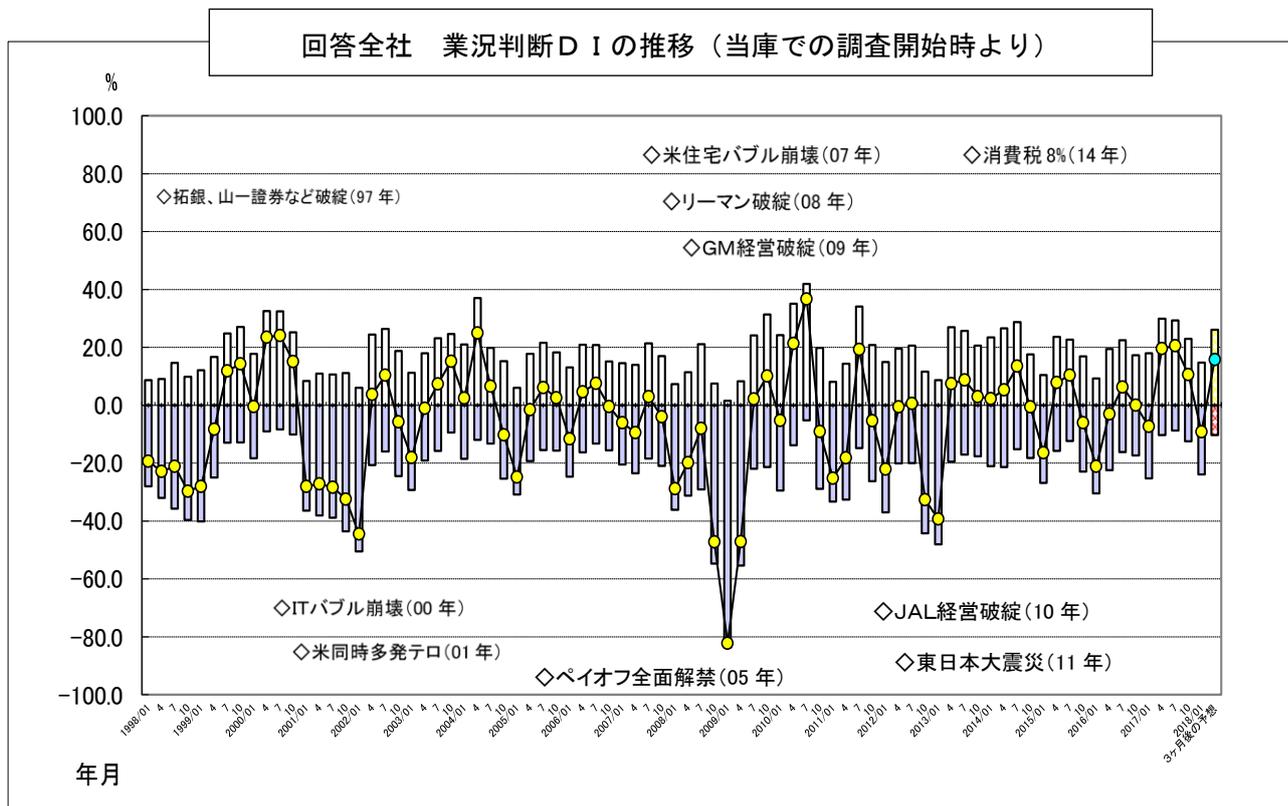
商業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、前回の 3.8 から $\Delta 3.7$ へ悪化した。来店客数DIは前回の $\Delta 19.3$ から 0.0 へ改善したものの、客単価DIは前回の $\Delta 3.9$ から $\Delta 7.4$ へ悪化し、収益性DIも前回の $\Delta 7.7$ から $\Delta 14.8$ へ悪化した。原材料仕入れコストの上昇は前回の 34.6%から 29.6%へやや低下したが、野菜やガソリンなどの身近な生活必需品の高止まりは、消費者の家計を圧迫し、小売りや外食産業などに影響をおよぼした。「3ヶ月後」の予想は業況判断DIが 11.1(前回 $\Delta 19.2$)、売上DIは 14.8(前回 $\Delta 11.5$)、来客数DIは 7.4(前回 $\Delta 23.1$)で好転予想が上回りプラス水準となっている。ただ、北陸地方などの記録的な大雪による流通面での今後の影響が懸念されている。

観光・サービス業は、冬場へ向かう季節要因で「3ヶ月前」との比較では例年悪化する時期だが、前回の 3ヶ月後の予想DIより落ち込みが大きかった。業況は $\Delta 8.3$ の予想から $\Delta 28.5$ 、売上も 8.3 から $\Delta 35.7$ 、宿泊客数は $\Delta 8.3$ から $\Delta 21.4$ となった。それでも「前年同期」と比べた業況判断DIは 14.3(前回 $\Delta 8.4$)、売上DIは 7.1(同 Δ

16.7)で、宿泊客数DIは 21.5(同△8.3)と上回っている。強い冷え込みがあり、スキー場のコンディションが良好で予定通りにオープンでき、スキー教室やスノーシューなどの来場者が増えた。春に向かう「3ヶ月後」の業況判断予想DIは 35.7(同△8.3)、客単価DIは 21.4(同△16.7)、宿泊客数は 42.8(同△8.3)で好転予想が多い。

建設業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは△6.2で、前回調査の 13.3から悪化した。受注状況DIも前回の 33.3 から△6.3 と悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは△6.2(前回 0.0)と悪化予想が多いが、受注予想DIは前回の△13.3 から 12.5 と好転予想が多い。従業員数の評価は「3ヶ月前」に比べて 31.3%が「不足」としているが、前回の 60.0%より改善した。諏訪地方の平成 29 年 12 月の新設住宅着工戸数は 88 戸で、前年同月比 4 戸減少(△4.3%)した。平成 29 年 4 月～12 月の累計着工戸数は 796 戸で、前年同期比 93 戸減少(△10.5%)した。平成 29 年 4 月～平成 30 年 1 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事の累計は 120 件 4,274 百万円で前年同期比件数は 21 件減少し、契約金額は 193 百万円増加(4.7%)した。1 月の市町村からの受注工事は合計 38 件 631 百万円で、前年同月比件数で 7 件増加し、契約金額は 495 百万円増加した。

雇用状況は、平成 29 年 12 月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を 0.08 ポイント上回り、前月と同率の 1.59 倍となった。1 倍台は 45 ヶ月連続。長野県は 1.74 倍で約 25 年ぶり、全国は 1.59 倍で約 44 年ぶりの高水準だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が 1,808 人で前年同月比 169 人増加(10.3%)した。新規求職者数は 717 人で前年同月比 24 人増加(3.5%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、運輸業で 60.0%、医療・福祉業で 59.4%増加し、飲食店・宿泊業が 17.8%減少した。求人の要因別は、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順となっている。1 件 10 人以上の人員整理はなかった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は 26 人で、前年同月より 15 人増加し、前月より 21 人減少した。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(184社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が14.7%、「横這」企業が61.4%、「悪化」企業が23.9%で△9.2となった。前回調査時点で3ヶ月後の予想DIは△1.7で、予想より悪化した。

製造業は、「好転」企業が前回の26.4%から12.6%へ減少し、「悪化」企業が11.2%から21.3%へ増加したため、悪化企業が上回るマイナス水準となった。非製造業は、「好転」企業が前回の15.1%から19.3%へ増加したが、「悪化」企業も15.1%から29.8%へ増加した。観光・サービス業の業況判断DIは△28.5で前回の△25.0から3.5ポイント悪化した。商業は前回の3.8から△3.7へ7.5ポイント悪化した。建設業は△6.2で前回の13.3より19.5ポイント悪化した。

産業別業況表

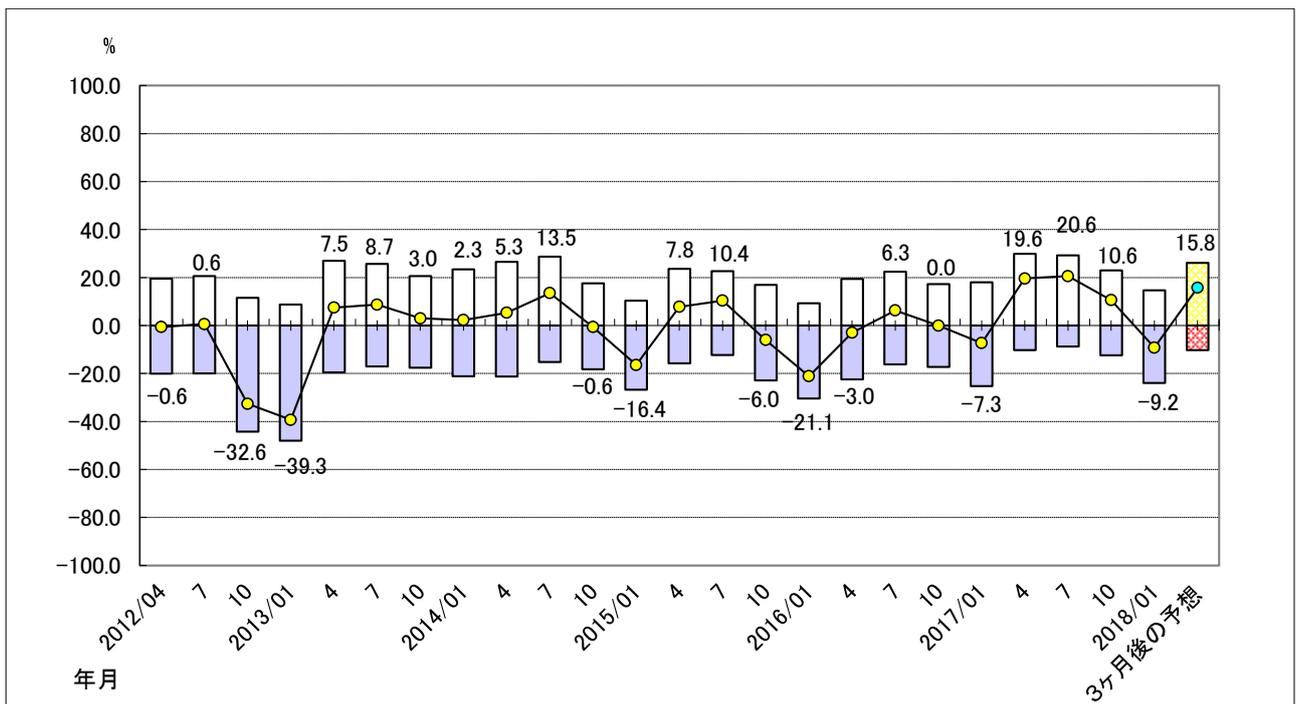
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	184	14.7	61.4	23.9	-9.2	184	39.1	40.8	20.1	19.0	184	26.1	63.6	10.3	15.8
製造業	127	12.6	66.1	21.3	-8.7	127	44.1	37.8	18.1	26.0	127	25.2	66.9	7.9	17.3
非製造業	57	19.3	50.9	29.8	-10.5	57	28.1	47.4	24.6	3.5	57	28.1	56.1	15.8	12.3
商業	27	22.2	51.9	25.9	-3.7	27	33.3	29.6	37.0	-3.7	27	29.6	51.9	18.5	11.1
建設業	16	6.3	81.3	12.5	-6.2	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	6.3	81.3	12.5	-6.2
観光・サービス	14	28.6	14.3	57.1	-28.5	14	21.4	71.4	7.1	14.3	14	50.0	35.7	14.3	35.7

自社業況判断DIの推移

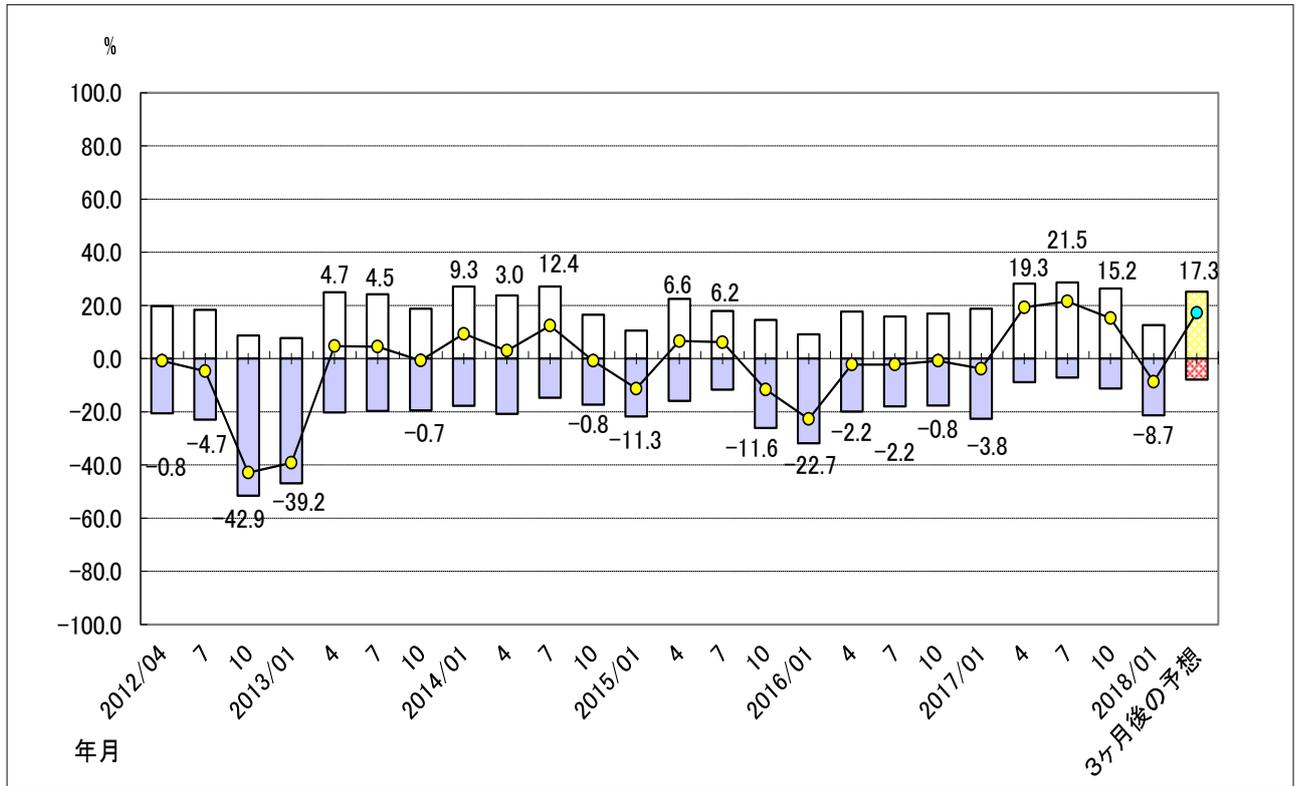
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



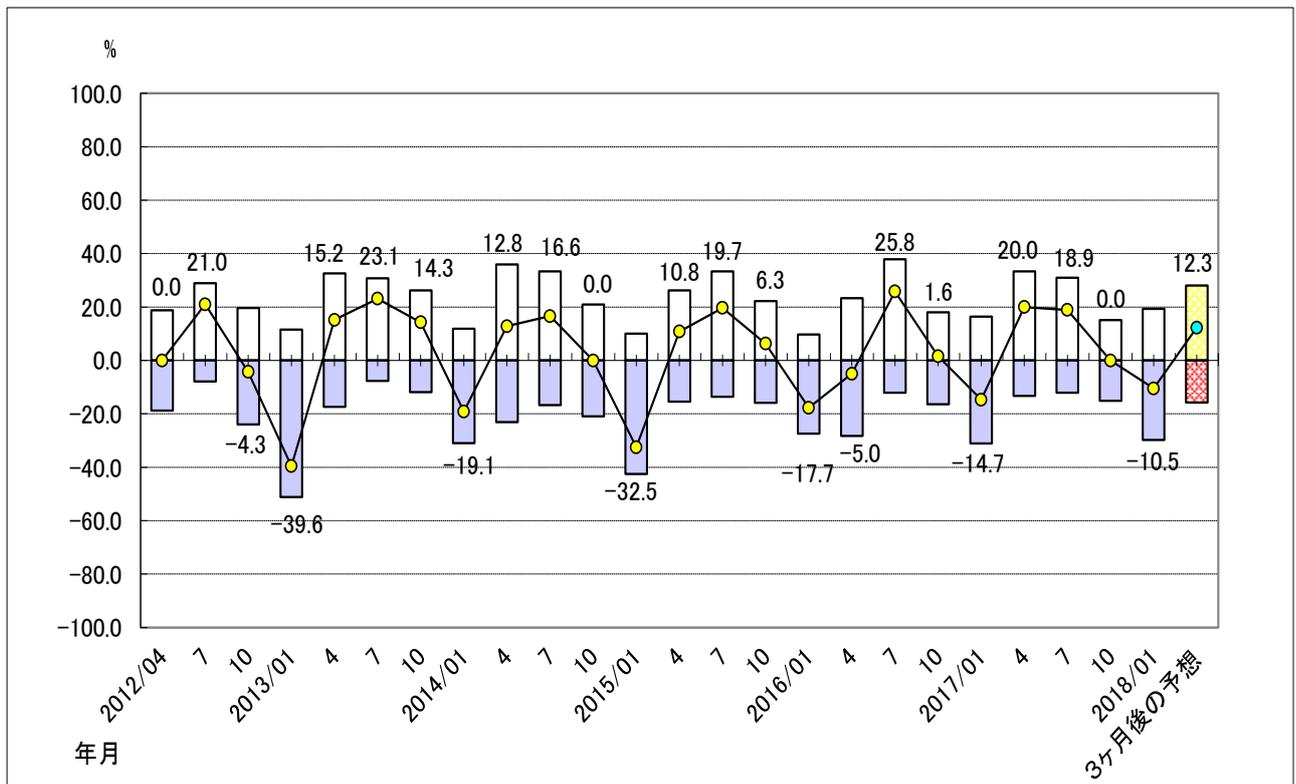
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフー3



産業別景気動向

1. 製造業

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べ△8.7で、前回の15.2から悪化した。「前年同期比」は26.0と前回の35.2から9.2ポイント悪化した。好転企業が多くプラス水準を維持している。「3ヶ月後」の予想は17.3で、前回の2.4から14.9ポイント改善した。

設備投資DIは、「3ヶ月前」に比べて13.4で前回の16.0より悪化し、「前年同期比」も前回の26.4から18.9へ悪化した。受注量増加や人手不足などへの対応で、設備投資をする企業は多い。「3ヶ月後」の予想DIは18.2で、前回の20.8からはやや悪化した。同様な傾向が続くと見られる。

収益性DIは、「3ヶ月前比」で△7.1と前回の4.8から11.9ポイント悪化し、「前年同期比」は前回の12.0から5.5へ6.5ポイント悪化した。「3ヶ月後」の予想は2.3で、前回の△2.4から改善した。

業種別(主要5業種)の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「精密機械」が25.0(前回50.0)、「輸送用機械」は0.0(同14.3)、「金属製品」が△11.7(同35.3)、「一般機械」は0.0(同9.4)、「電気機械」が△32.0(同△8.3)といずれも悪化した。

「前年同期比」では、「輸送用機械」が71.4(同64.3)、「精密機械」は41.7(同41.6)と改善し、「金属製品」が58.8(前回82.3)、「一般機械」は12.1(同25.0)、「電気機械」が12.0(同12.5)と悪化した。

「3ヶ月後」の予想DIは、「金属製品」は0.0(同0.0)と同率で、「輸送用機械」が14.3(同0.0)、「電気機械」は32.0(同0.0)、「精密機械」は25.0(同△9.1)と改善し、「一般機械」が6.1(前回9.3)と悪化した。

1月になって、一部製造業では落ち込んだ業者もあるが、在庫調整的な動きで3月以降の受注は確認している企業が多い。ただ、材料調達に苦慮する企業も多く、納品に相当な時間がかかる影響を受ける状況は続いている。また、北陸の大雪で納品遅れが発生した企業があった。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	127	12.6	66.1	21.3	-8.7	127	44.1	37.8	18.1	26.0	127	25.2	66.9	7.9	17.3	
規模	1~29人	68	10.3	69.1	20.6	-10.3	68	36.8	47.1	16.2	20.6	68	16.2	76.5	7.4	8.8
	30~99人	42	19.0	61.9	19.0	0.0	42	57.1	21.4	21.4	35.7	42	33.3	57.1	9.5	23.8
	100人~	17	5.9	64.7	29.4	-23.5	17	41.2	41.2	17.6	23.6	17	41.2	52.9	5.9	35.3
分類	金属製品製造業	17	11.8	64.7	23.5	-11.7	17	64.7	29.4	5.9	58.8	17	11.8	76.5	11.8	0.0
	一般機械器具製造業	33	15.2	69.7	15.2	0.0	33	30.3	51.5	18.2	12.1	33	15.2	75.8	9.1	6.1
	電気機械器具製造業	25	4.0	60.0	36.0	-32.0	25	40.0	32.0	28.0	12.0	25	32.0	68.0	0.0	32.0
	輸送用機械器具製造業	14	0.0	100.0	0.0	0.0	14	71.4	28.6	0.0	71.4	14	14.3	85.7	0.0	14.3
	精密機械器具製造業	12	25.0	75.0	0.0	25.0	12	50.0	41.7	8.3	41.7	12	33.3	58.3	8.3	25.0

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて $\Delta 11.7$ で、前回調査時の35.3から悪化した。「前年同期比」も58.8(前回82.3)と悪化した。悪化企業の割合は前回と変わらない5.9%で、高水準の横這い企業が増加している。「3ヶ月後」の予想は0.0で前回と同様だった。自動車関連や省力化機械・ロボット関連、半導体製造装置関連は依然好調。ただ、汎用品不足の影響で短納期傾向も見られる。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回の9.4より悪化したものの、好調な状態が続いている。「前年同期比」は12.1で、前回の25.0より悪化した。悪化企業は前回の15.6%から18.2%へやや増えたが、前回好転した企業が横ばいで推移している割合が多い。「3ヶ月後」の予想は、6.1で前回の9.3より悪化した。高水準からの悪化で、総体的な生産状況は好調が続いている。省力化機械は取引先の省力化・自動化機器などの設備投資意欲が旺盛で、安全装置機器や電気自動車部品など自動車部品関連の受注も好調に推移している。半導体関連や工作機械関連も先行き増加傾向となっている。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前比」で $\Delta 32.0$ と前回の $\Delta 8.3$ から悪化した。しかし、「前年同期比」は12.0と前回の12.5とほぼ同様に推移し、「3ヶ月後」の予想は32.0で前回の0.0から大幅な好転予想となっている。プリント基板は、自動車のセンサー関連がけん引して好調。半導体関連も堅調だが、一部減少した企業もある。工作機械関連は、自動化に伴い受注は活発化している。ただ、部品調達の遅れを懸念する企業もある。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて0.0で、前回の14.3から悪化した。しかし、「前年同期比」は71.4で、前回の64.3からさらに改善し、「3ヶ月後」の予想も14.3で、前回の0.0から改善した。自動車関連部品は、国内外でSUV車が人気で、依然旺盛な受注が続く。国内ではハイブリットや電気自動車部品が徐々に多くなってきている。船外機は米国向けの受注が旺盛。減速機は、中国の設備投資による産業機械向けと国内の省力化機械向けの受注が活発になっている。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて25.0で、前回の50.0から悪化した。「前年同期比」は41.7(前回41.6)とほぼ同様で、「3ヶ月後」の予想は25.0(前回 $\Delta 9.1$)と好転予想が多い。自動改札や無人精算機などのバーコード読み取りレンズが高水準の受注状況で、医療器関連のレンズも増加傾向。低調だったデジタルカメラが回復傾向となり、底を打ったとする企業がある。

② 規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人」規模は前回の6.0から $\Delta 10.3$ へ悪化し、「30～99人」規

模も前回の27.9から0.0へ悪化、「100人以上」規模は前回の18.8から△23.5と悪化した。「前年同期比」は「1～29人」規模が20.6で前回の27.2から悪化し、「30～99人」規模も35.7で前回の46.5から悪化し、「100人以上」規模は23.6で、前回の37.5から悪化した。一方、「3ヶ月後」の予想は、「1～29人」規模が8.8で前回の△3.1から改善し、「30～99人」規模は23.8で前回の9.3から改善し、「100人以上」規模は35.3で前回の6.2より大幅な好転予想となっている。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「増加」企業22.0%、「減少」企業24.4%で△2.4と、前回調査時の17.6から、悪化した。「前年同期比」も26.8で前回の40.0から悪化した。一方、「3ヶ月後」の予想は前回の4.0から14.2へ改善した。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は△4.4で、前回の7.6から悪化した。「30～99人企業」は2.4で、前回の32.5から悪化し、「100人以上企業」は△5.9で前回の18.7から悪化している。「前年同期比」では「1～29人企業」が20.6で前回の28.8から悪化し、「30～99人企業」は35.8で前回の53.5から悪化し、「100人以上企業」も29.5で前回の50.0から悪化した。「3ヶ月後」の予想は「1～29人企業」が1.5で前回の△6.1から改善し、「30～99人企業」は前回の16.3から23.8と好転予想が増えた。「100人以上企業」は41.2で前回の12.5から好転予想が多くなっている。

業種別(主要5業種)の「3ヶ月前比」は、「精密機械」は前回の41.7から33.3、「一般機械」は15.7から6.1、「金属製品」が23.5から5.9、「輸送用機械」は21.4から0.0、「電気機械」は△4.1から△20.0へ悪化した。「前年同期比」は、「輸送用機械」が85.7から64.3、「精密機械」は66.7から41.7、「金属製品」が76.5から52.9、「一般機械」は15.6から9.1、「電気機械」は25.0から20.0へプラス水準ながら悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「金属製品」は0.0で前回と同様で、「一般機械」は12.5から3.0へ悪化した。一方、「電気機械」は8.3から32.0、「精密機械」は0.0から16.7、「輸送用機械」は7.1から14.3へ改善した。

業種別・規模別受注状況表

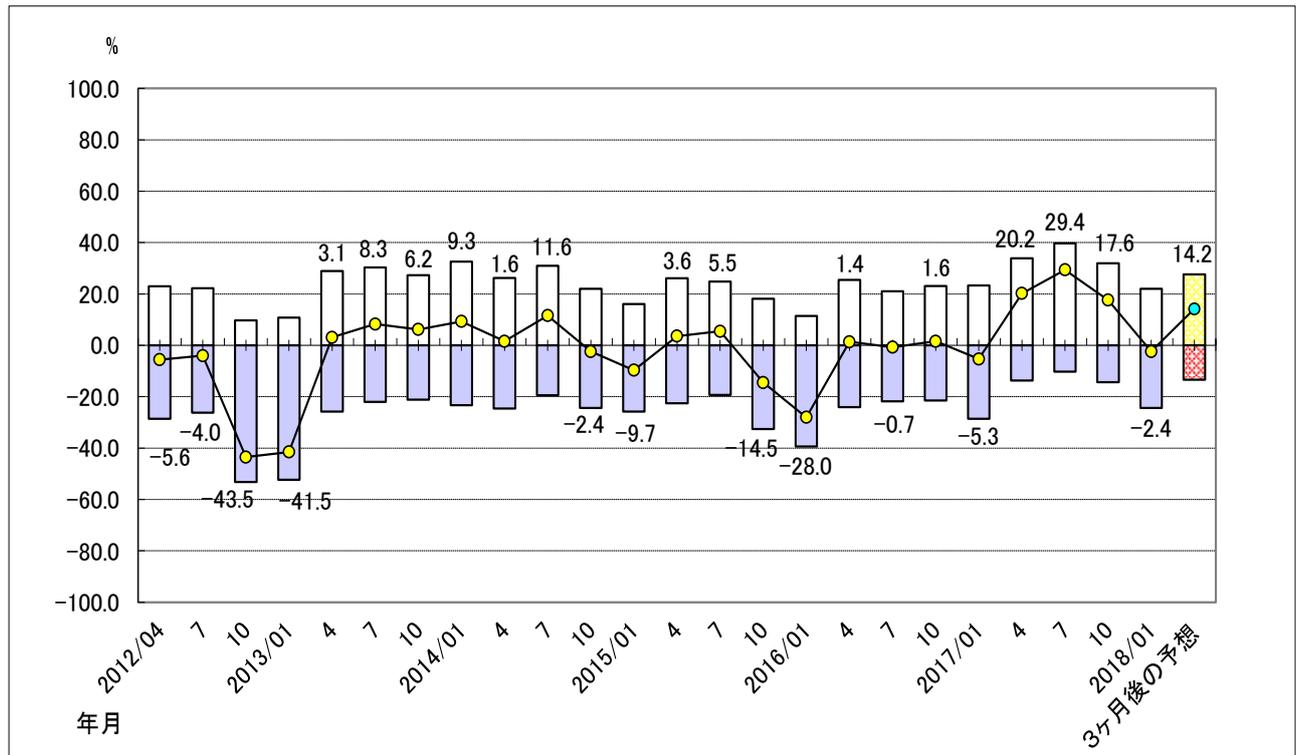
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	127	22.0	53.5	24.4	-2.4	127	46.5	33.9	19.7	26.8	127	27.6	59.1	13.4	14.2	
規模	1～29人	68	20.6	54.4	25.0	-4.4	68	41.2	38.2	20.6	20.6	68	20.6	60.3	19.1	1.5
	30～99人	42	26.2	50.0	23.8	2.4	42	54.8	26.2	19.0	35.8	42	33.3	57.1	9.5	23.8
	100人～	17	17.6	58.8	23.5	-5.9	17	47.1	35.3	17.6	29.5	17	41.2	58.8	0.0	41.2
中分類	金属製品製造業	17	23.5	58.8	17.6	5.9	17	58.8	35.3	5.9	52.9	17	11.8	76.5	11.8	0.0
	一般機械器具製造業	33	30.3	45.5	24.2	6.1	33	33.3	42.4	24.2	9.1	33	21.2	60.6	18.2	3.0
	電気機械器具製造業	25	16.0	48.0	36.0	-20.0	25	48.0	24.0	28.0	20.0	25	40.0	52.0	8.0	32.0
	輸送用機械器具製造業	14	7.1	85.7	7.1	0.0	14	71.4	21.4	7.1	64.3	14	14.3	85.7	0.0	14.3
	精密機械器具製造業	12	33.3	66.7	0.0	33.3	12	50.0	41.7	8.3	41.7	12	25.0	66.7	8.3	16.7

製造業の受注状況DIの推移

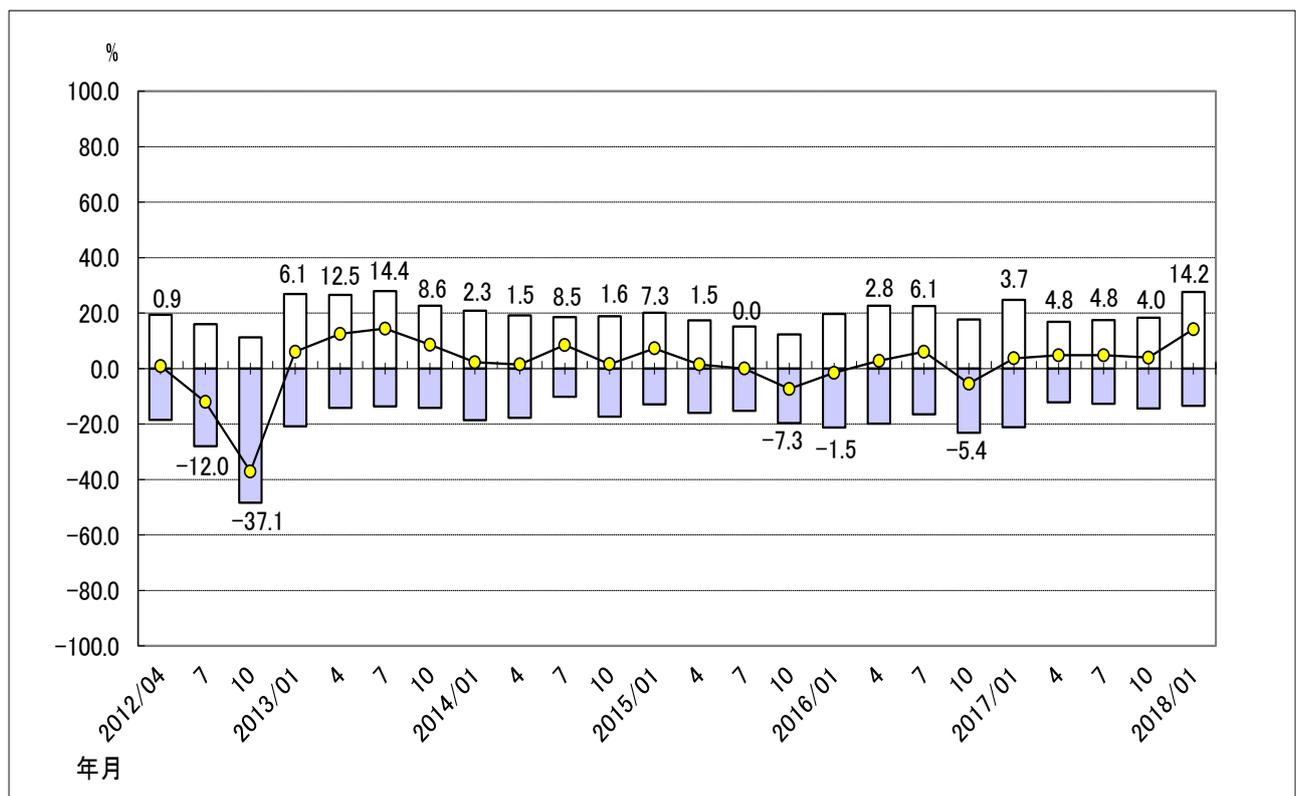
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



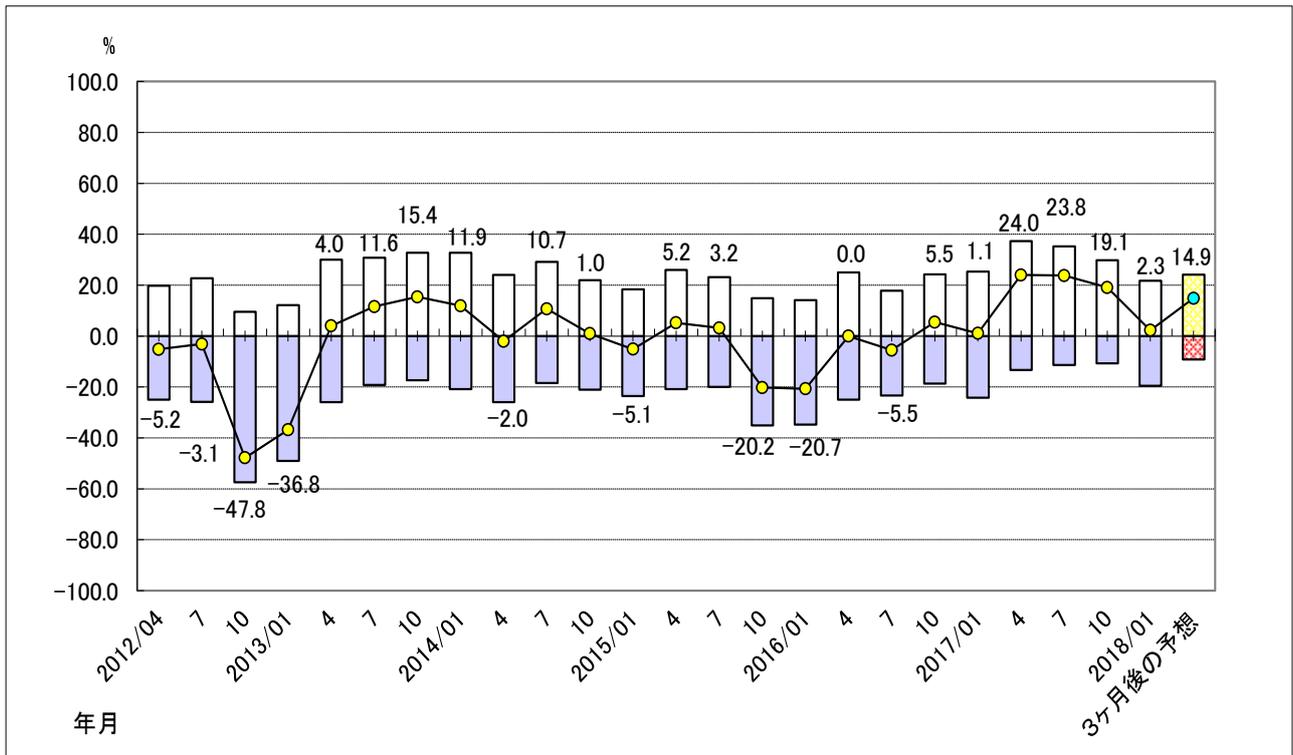
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



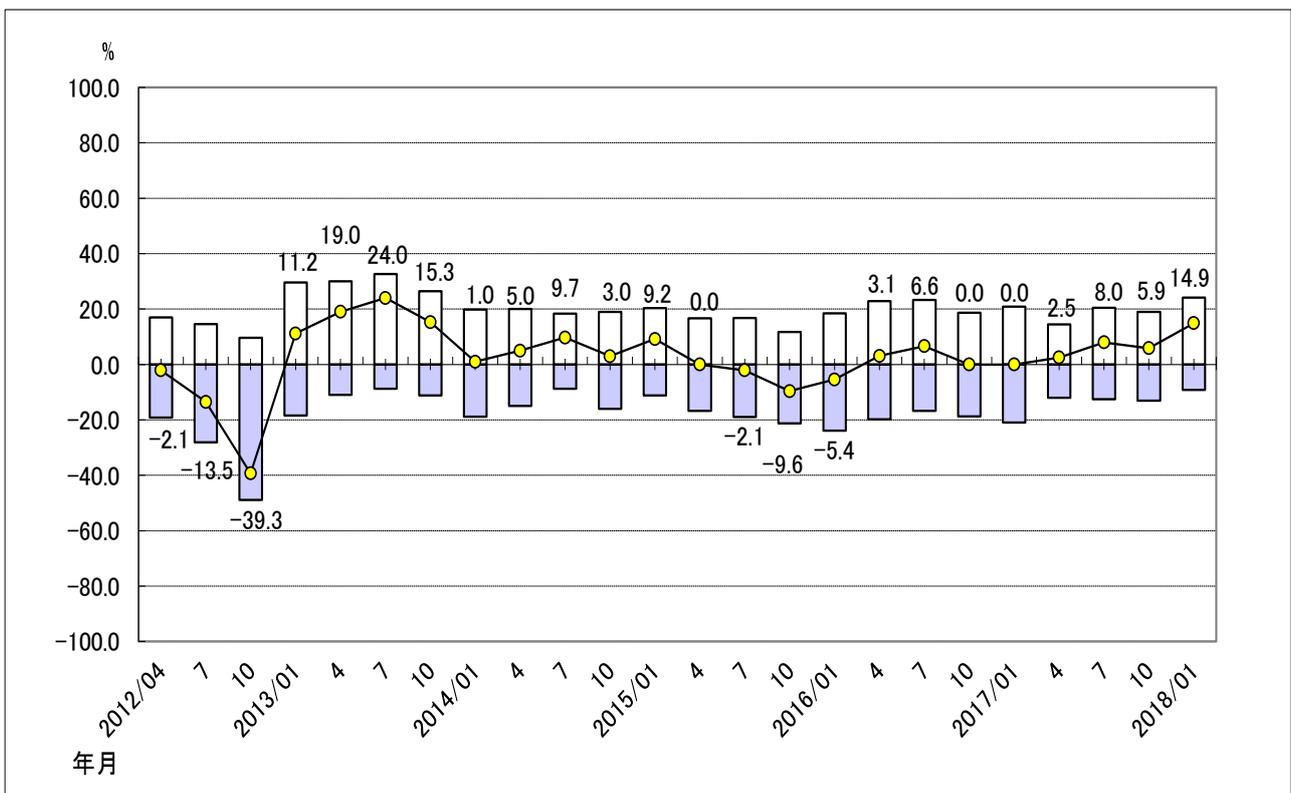
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

① 商業

「前年同期」と比較すると、業況判断DIは△3.7(前回△11.6)、売上DI0.0(同△26.9)、来店客数DI△25.9(同△34.6)と改善している。1月は、例年より雪が降らなかったことで、客足への影響は少なかったが、仕入れ価格の高騰が、各方面の収益に影響をおよぼした。また、バレンタインや節分商戦は盛り上がりを欠いた。

- 食料品 ウナギは稚魚の漁獲量が減少し業界全体で商品価格の上昇が予想されている。
- 大型小売店 野菜の高騰で、カット野菜や冷凍野菜、野菜ジュースが売れ、モヤシやキノコ類に消費傾向が移っている。福袋は前年比増加し、景気の良さを反映した。
- 自動車 諏訪地方の1月の車庫証明件数(軽自動車除く)が778件で、前年同月比では100件減少(△11.4%)した。2ヶ月連続で減少した。
- 書店 直木賞と芥川賞の発表があったが、話題性に乏しく売れ行きは伸び悩んだ。
- 飲食店 新年会需要があっても野菜が高騰し、鮮魚も高止まりしたままで、収益に苦慮した店舗が多い。焼肉は、例年より正月の来店客が伸びた店舗があった。
- ガソリンスタンド 強い冷え込みで灯油販売が伸びた。

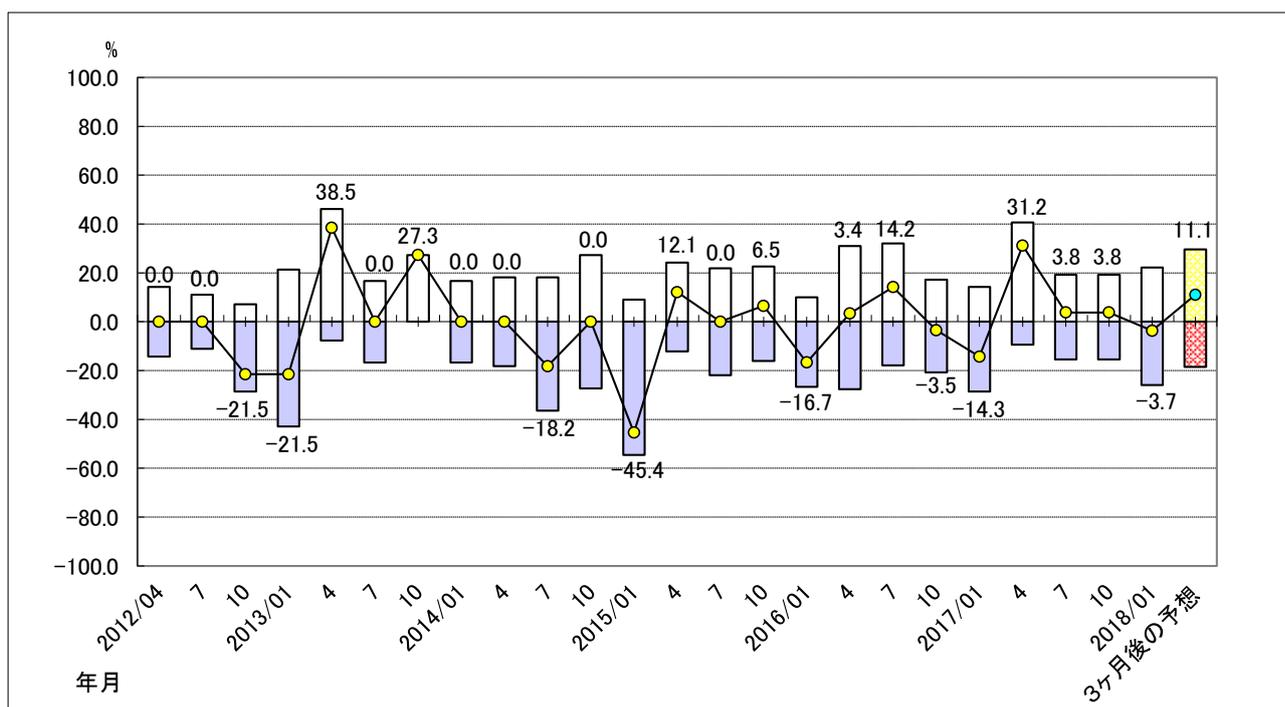
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	27	22.2	51.9	25.9	-3.7	27	33.3	29.6	37.0	-3.7	27	29.6	51.9	18.5	11.1
客単価	27	7.4	77.8	14.8	-7.4	27	18.5	63.0	18.5	0.0	27	25.9	66.7	7.4	18.5
来店客数	27	22.2	55.6	22.2	0.0	27	11.1	51.9	37.0	-25.9	27	22.2	63.0	14.8	7.4

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



② 観光・サービス業

1月の諏訪地方は、冷え込みが強いものの降雪は少なかった。しかし、東北や北陸は大雪となり、首都圏でも積雪があり交通網が混乱した。また、予期しなかった群馬県草津白根山の噴火があり、報道による風評が諏訪地方の観光客の動向にも影響をおよぼした。スキー合宿を行う都心の学校が予定を変更して諏訪地方へ流れた一方、東北や北陸方面へ向かう旅行のキャンセルが見られた。

- 上諏訪温泉 宿泊人数は、前年同月比で約4%の減少から約50%の増加まで施設によってまちまちだが、総体では例年並み。1～4人の個人客が前年を上回り、県内の旅行客が多い。インバウンドは減少した。
- 下諏訪温泉 宿泊が減少し、宴会が増加した。個人予約は堅調に推移している。
- 蓼科・白樺湖 中学校のスキー教室が減少する一方で、ファミリー層が増加するなどスキー場は施設によって入り込み状況はまちまち。御神渡りの出現は関心が高く、白樺湖にも問い合わせがあった。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた1月の参拝者数は約39万1千人で、前年同月比約1万8千人の増加(4.8%)となった。

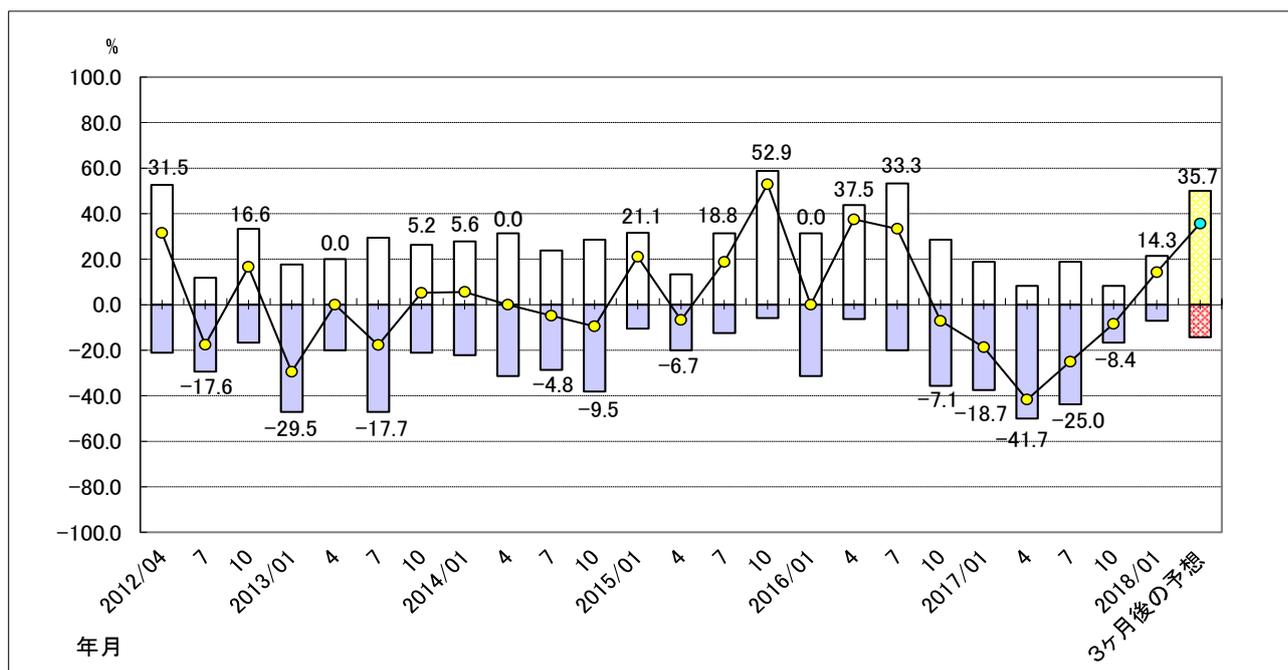
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	14	28.6	14.3	57.1	-28.5	14	21.4	71.4	7.1	14.3	14	50.0	35.7	14.3	35.7
客単価	14	14.3	42.9	42.9	-28.6	14	7.1	78.6	14.3	-7.2	14	35.7	50.0	14.3	21.4
宿泊客数	14	28.6	21.4	50.0	-21.4	14	28.6	64.3	7.1	21.5	14	57.1	28.6	14.3	42.8

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

「3ヶ月前」と比べた外注発注量DIは6.3で、前回の26.6から悪化した。また、資金繰りDIは前回の0.0から△6.3へ悪化し、収益性DIも△12.5で前回の0.0から悪化した。「前年同期比」では、業況判断DIは6.2で前回の13.3から悪化し、売上DIも20.0から12.5へ悪化した。受注状況DIは13.4から18.7へ改善した。一方、「3ヶ月後」の予想DIは、受注状況が12.5(前回△13.3)で改善し、外注発注量も25.0(前回6.7)と改善している。新設住宅着工戸数は、平成29年4月～12月の累計が796件で、前年同期比93件減少(△10.5%)している。また、平成29年1月～12月では合計1,020件で、前年同期比67件減少(△6.2%)した。

●建築工事

諏訪地方の平成29年12月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市22戸、諏訪市18戸、茅野市24戸、諏訪郡24戸の合計88戸だった。長野県全体の12月の新設住宅着工戸数は959戸で、前年同月比12.5%減少した。持家は2ヶ月ぶりの増加、貸家は2ヶ月ぶりの減少、分譲は2ヶ月連続の減少となった。

●公共工事

地元業者が受注した平成30年1月の国県関係の公共工事は9件、212百万円だった。市町村からの受注工事は、建築工事10件499百万円、土木23件98百万円、その他工事5件34百万円だった。

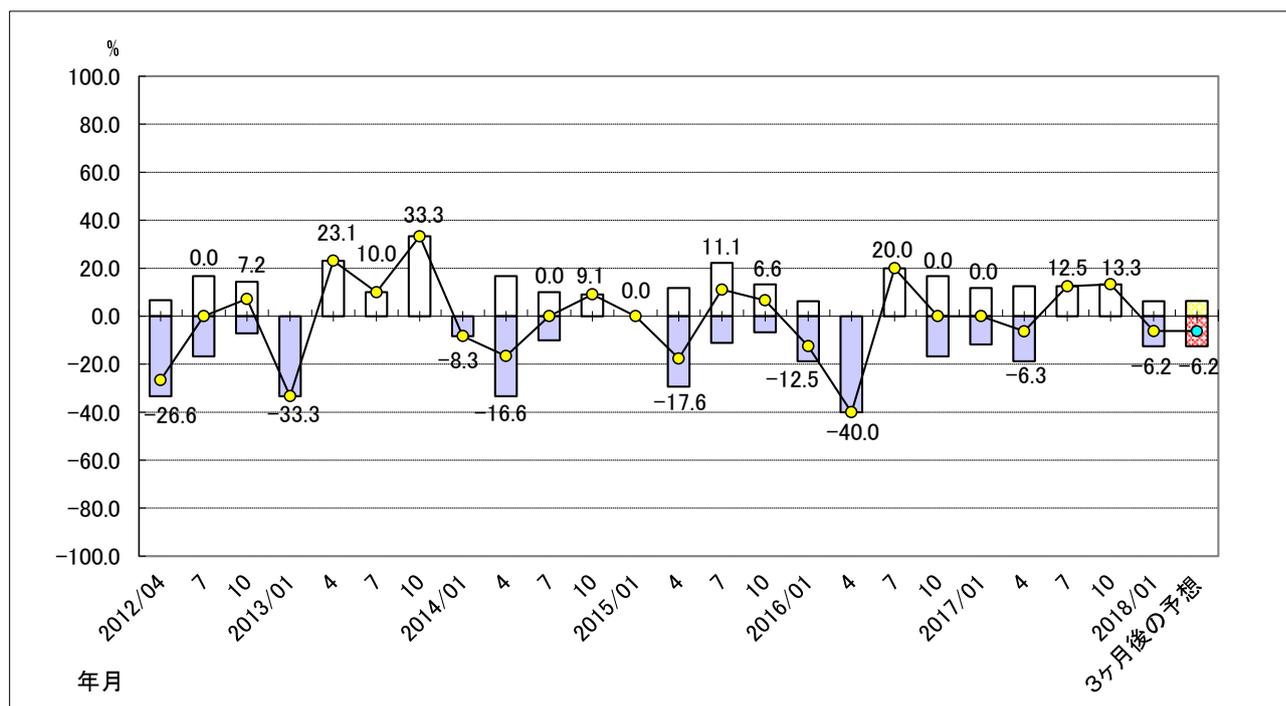
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	16	6.3	81.3	12.5	-6.2	16	25.0	56.3	18.8	6.2	16	6.3	81.3	12.5	-6.2
受注状況	16	12.5	68.8	18.8	-6.3	16	37.5	43.8	18.8	18.7	16	18.8	75.0	6.3	12.5
外注発注量	16	18.8	68.8	12.5	6.3	16	50.0	31.3	18.8	31.2	16	31.3	62.5	6.3	25.0

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



4.収益性状況

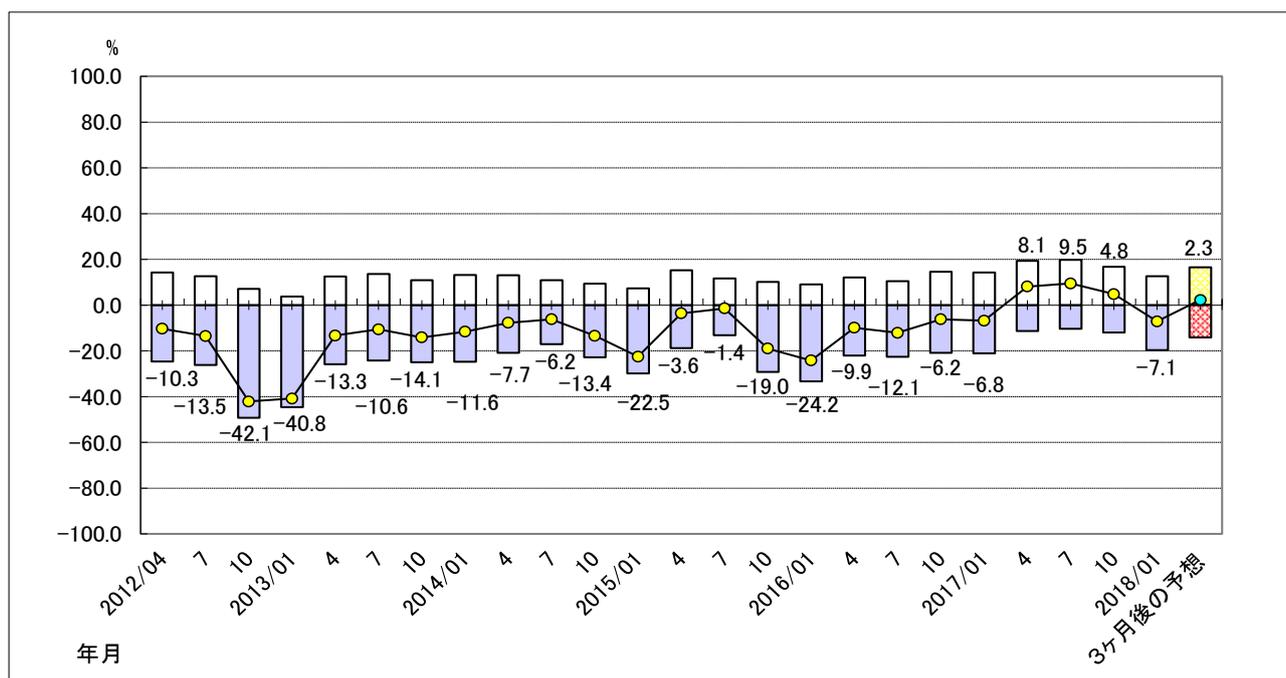
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 11.4%、「悪化」企業 20.7%で、同DIは△9.3と前回調査時の 0.5 から悪化した。「前年同期比」でも 2.7 で、前回の 4.5 より悪化している。

「3ヶ月前」と比べて製造業は△7.1 で前回の 4.8 より 11.9 ポイント悪化し、非製造業は△14.0 で前回の△9.4 より 4.6 ポイント悪化している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が 2.3 で前回の△2.4 より改善し、非製造業は 10.6 で前回の△11.3 より改善している。回答全社でも 4.9 で、前回の△5.1 より改善している。

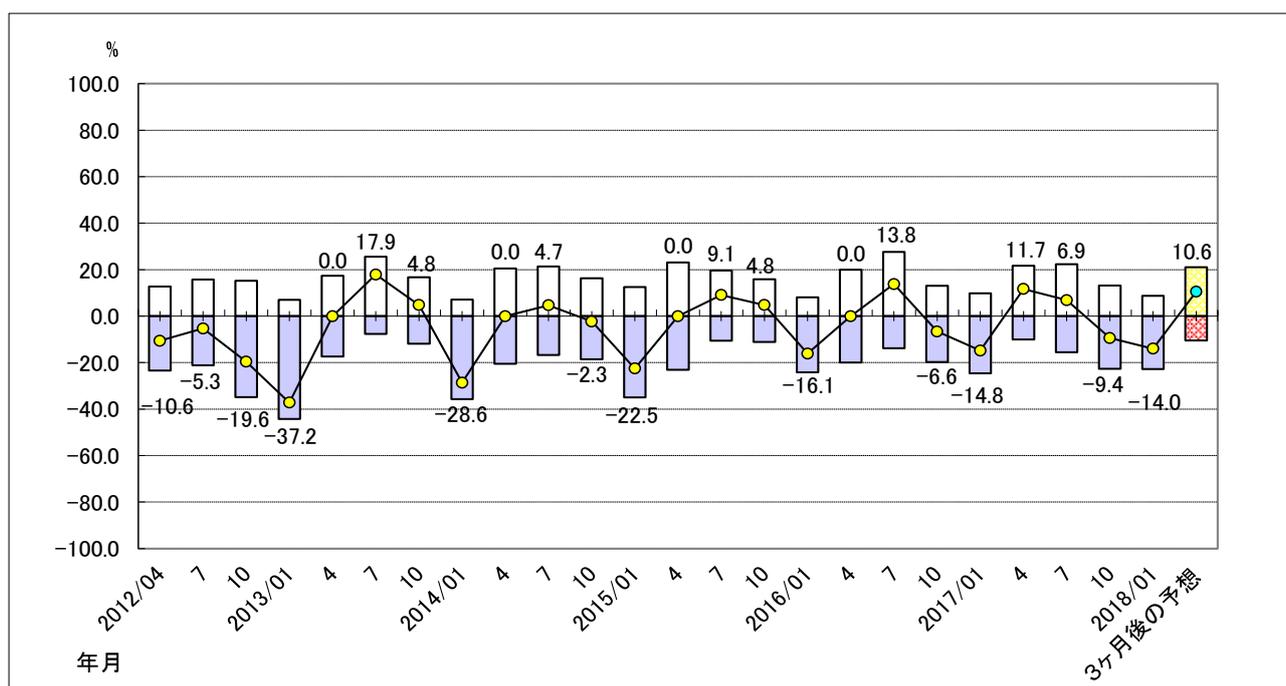
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は労働力確保と売上減少②商業は売上減少と労働力確保③建設業は労働力確保と売上減少④観光・サービス業は労働力確保と人件費となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	54	32	12	5	5
単価引下げ	16	11	0	3	2
競争激化	40	26	9	3	2
資金繰り	30	22	6	0	2
人件費	44	28	5	4	7
労働力確保	108	76	13	11	8

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【12月】	ハローワーク諏訪	1.59倍	0.08ポイント	
手形交換高【1月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	5,510枚	△69枚	
	金額	7,607百万円	656百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	△2枚
	金額	0千円	△380千円	
車庫証明取扱件数【1月】(諏訪地方合計)		778件	△11.4%	
新設住宅着工戸数【平成29年4月～12月】(諏訪管内)		796戸	△10.5%	

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 平成30年1月末。
- ② 調査内容 「平成30年1月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想。
- ③ 調査方法 アンケート調査およびヒアリング調査(約130社)。
- ④ 対象地域 諏訪地域全域。
- ⑤ 業種 製造業、商業、建設業、観光・サービス業。
- ⑥ 回答企業数 184企業。
- ⑦ 回答率 73.6%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	170	40	20	20	250
回答数	127	27	16	14	184